

令和5年8月臨時教育委員会議録

1. 日 時 令和5年8月21日(月)午後2時00分

2. 場 所 泉佐野市役所5階 第一会議室

3. 出席委員	教育長	奥 真弥
	教育長職務代理者	赤坂 敏明
	委 員	山下 潤一郎
	委 員	中村 スザンナ
	委 員	甚野 益子
	委 員	石崎 貴朗
	委 員	谷口 朋

4. 説明のために出席した職員の職、氏名

泉佐野市立学校教科用図書選定審議会

会 長	武田 博之
副会長	古谷 秋雄
委 員	茶谷 由孝
委 員	飯田 恵子
委 員	森本 和彦
委 員	森 美友子
委 員	山岡 史賢
委 員	渡辺 健吾
委 員	中村 絵里
委 員	古谷 大助
委 員	佐々木 昌道
委 員	松良 秀治
委 員	杉村 祐紀代
委 員	伊藤 敏和
委 員	岩谷 朋子

教育部長	高橋 和也
学校教育課長	田倉 元
学校教育課学校指導担当参事	和田 哲弥

教育部学校教育課指導主事	近藤 輝史
教育総務課長	鍵埜 和弘
(庶務係) 教育総務課課長代理(兼)係長	山本 建志

5. 本日の署名委員 委員 赤坂 敏明

議事日程

議案第17号 令和6年度使用泉佐野市立小学校教科用図書選定について (学校教育課)

※以下、「中村委員」…中村スザナ教育委員、「中村絵里委員」…中村絵里泉佐野市立学校教科用図書選定審議会委員

(午後2時00分開会)

奥教育長

ただ今から令和5年8月の臨時教育委員会議を開催します。

本日は14名の方から傍聴の申込みがあり、許可致したいと思いますが、いかがでしょうか。

(各委員 「異議なし」の発言あり)

それでは傍聴を許可いたします。

[傍聴者入室]

本日は委員全員が出席しているため、会議が成立しています。

本日の会議録署名委員は赤坂委員にお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

それでは本日の審議に入りたいと思います。

議案第17号「令和6年度使用泉佐野市立小学校教科用図書選定について」を議題といたします。

本日は、令和5年5月25日に、泉佐野市立学校教科用図書選定審議会に諮問いたしました結果、「令和6年度使用泉佐野市立小学校教科用図書選定」に関する答申をいただき、「令和6年度使用泉佐野市立小学校教科用図書」を決定することとなっております。

教育委員会といたしましては、審議会及び調査員が教科用図書の調査研究に多大な時間をかけていただいたこと、また、審議会において十分ご審議いただいたことに、感謝の意を表します。ありがとうございました。

それでは、審議の結果につきまして、武田会長より答申をいただきたいと思っております。武田会長よろしくお願いたします。

武田会長

教科用図書選定審議会の武田でございます。

令和5年5月25日、教育委員会より諮問されました「令和6年度使用泉佐野市立小学校教科用図書選定」に関する調査、審議の結果について答申いたします。

〔武田会長、答申書をもって前に進み、教育長に手渡す〕

奥教育長

本当に武田会長はじめ審議会の委員の皆様ありがとうございました。

では、武田会長の方から審議会の答申につきまして説明をよろしく願いいたします。

武田会長

お手元の答申をご覧ください。

なお、今回の答申については、審議会で種目ごとに2者ないし3者を選び、審議会としての推薦順位をつけております。

総合評価も記しておりますので、ご参照いただければと存じます。

また、推薦順位上位3者以外の発行者については、推薦順位ではなく、その後に、発行者番号順に総合評価を記していますことを申し添えます。よろしく願いします。

それでは、種目ごとにご報告させていただきますが、まず、今回、どの種目の教科書も、学習指導要領に則り、各教科の目標や指導事項などが確実に盛り込まれておりました。

また、児童の主体的・対話的で深い学びにつなげられるよう、児童の学習意欲を高めながら、いかにわかりやすく理解させるかということについても、各者、創意工夫が随所に盛り込まれておりました。

それゆえ、推薦順位を示すのが非常に難しい種目もありました。

さらに、現在使用の教科書より、二次元コードの記載が大幅に増加し、一人一台端末の利活用を意識して、「個別最適な学び」の実現に向けたデジタルコンテンツの工夫も多く見られるようになりました。

しかし、「個別最適な学び」のみならず、「協働的な学び」の視点についても審議会では重視いたしました。

また、各小学校や市の教育研究会からの調査報告も加味しながら、さらに、各種目の専門的な内容の調査について、先日、調査員から報告を受けまして、審議を進めて参りました。

それでは、種目ごとにご説明いたします。

まず、「国語」の発行者は3者ございます。

国語では、児童が主体的に学習を進めていけるように工夫されているか、コミュニケーションを大切に、協働的な学びができるよう工夫されているか、語彙を増やすための工夫が充実しているかなどを重視しました。

その結果、審議会としての推薦順位は、「1位 光村図書出版株式会社、2位 東京書籍株式会社、3位 教育出版株式会社」でございます。

次に、「書写」の発行者は3者ございます。

書写では、発達段階に応じた適切な題材が取り上げられているか、必要な情報が精選されていて見やすいか、利き手などの多様性に配慮しているかなどを重視しました。

その結果、審議会としての推薦順位は、「1位 光村図書出版株式会社、2位 東京書籍株式会社、3位 教育出版株式会社」でございます。

次に、「社会」の発行者は3者ございます。

社会では、重要語句が明確に示されているか、デジタルコンテンツを含めた資料等の情報が充実しているか、課題の解決にむけて、目標や活動内容が示され、児童が主体的に学習できるように工夫されているかなどを重視しました。

また、身近な地域が取り上げられていて、親しみやすいかも加味しました。

その結果、審議会としての推薦順位は、「1位 日本文教出版株式会社、2位 教育出版株式会社、3位 東京書籍株式会社」でございます。

次に、「地図」の発行者は2者でございます。地図は、まず、地図自体が見やすいか、児童の学習意欲を高め、主体的に学習できるように工夫されているか、

必要な情報が精選されているかなどを重視しました。

その結果、審議会としての推薦順位は、「1位 株式会社帝国書院、2位 東京書籍株式会社」でございます。

次に、「算数」の発行者は6者でございます。

算数は、既習事項との関連性や連続性が示されるなど学習の流れがわかりやすいか、学んだことが実生活や他教科でも生かされるよう工夫されているか。

また、個々の習熟度に応じた問題がデジタルコンテンツを含めて豊富にあり、主体的に個別最適な学習が進めていけるかなどを重視しました。

その結果、審議会としての推薦順位は、「1位 東京書籍株式会社、2位 株式会社新興出版社啓林館、3位 日本文教出版株式会社」でございます。

次に、「理科」の発行者は6者ございますが、一般社団法人信州教育出版社からは見本本が届いておりませんので、それ以外の5者について調査いたしました。

理科では、日常生活との関連の中で児童が興味・関心をもって主体的に学習に取り組める仕掛けがあるか、見通しをもって観察や実験を行う工夫などが適切に盛り込まれているか、また、問題解決的な力を高めるような工夫がなされているかなどを重視しました。

その結果、審議会としての推薦順位は、「1位 株式会社新興出版社啓林館、2位 東京書籍株式会社、3位 教育出版株式会社」でございます。

次に、「生活」の発行者は7者ございますが、理科と同様、一般社団法人信州教育出版社からは見本本が届いておりませんので、それ以外の6者について調査いたしました。

生活は、対象が1・2年の低学年ということもあり、文字や写真の大きさや明瞭さ・イラストなどが児童にとって見やすく、わかりやすいものであるか。

児童が実践したい、体験したいと思えるよう工夫されているかなどを重視しました。

また、3年から始まる理科・社会への接続や他教科との関連性を意識した内容になっているかについても重視しました。

その結果、審議会としての推薦順位は、「1位 株式会社新興出版社啓林館、2位 東京書籍株式会社、3位 光村図書出版株式会社」でございます。

次に、「音楽」の出版者は、2者でございます。

音楽では、写真・イラストが曲をイメージしやすいものになっているか、楽譜の並び、文字の量、情報量が適切で見やすくなっているか、日本の伝統的な楽曲を含め、世界各国の様々なジャンルの幅広い楽曲が取り扱われているかなどを重視しました。

その結果、審議会としての推薦順位は、「1位 教育出版株式会社、2位 株式会社教育芸術社」でございます。

次に、「図画工作」の出版者は、2者ございます。

図画工作では、児童が発想を広げ、よりよい方法を考えたり、つくり出す喜びを感じたりしながら学びを深める手助けとなる工夫がされているかを重視しました。

また、デジタルコンテンツにつきましても、同様に、児童が発想を広げられるか、制作意欲を高めるのに効果的であるかどうかを重視しました。

その結果、審議会としての推薦順位は、「1位 日本文教出版株式会社、2位 開隆堂出版株式会社」でございます。

次に、「家庭」の出版者は、2者ございます。

家庭では、学年や季節に応じた教材の配列や単元構成など、児童がより学習しやすいように工夫されているか、基礎的・基本的事項などについての説明が丁寧になされているか、また、学習したことを家庭で活用したり実践したりしようと思えるよう工夫されているかなどを重視しました。

その結果、審議会としての推薦順位は、「1位 開隆堂出版株式会社、2位 東京書籍株式会社」でございます。

次に、「保健」の出版者は、6者ございます。

保健では、「健康・安全」について児童が実践的に理解できる学習活動が取り入れられ、それが問題解決的な学習や発展的な学習に広げられるものであるかなどを重視しました。

また、体の変化の性に対する個人差や多様性についても配慮され、児童が安心して学習できる内容になっているかについても重視しました。

その結果、審議会としての推薦順位は、「1位 株式会社光文書院、2位 東京書籍株式会社、3位 株式会社大修館書店」でございます。

次に、「英語」の出版者は、6者ございます。

英語は、中学校への接続を意識し、できるだけシンプルな構成で、児童にとって理解しやすく、より興味を持って取り組めそうな題材が取り上げられているか、「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能のうち、コミュニケーションを大切に「聞く」「話す」の活動内容が充実しているかを重視しました。

その結果、審議会としての推薦順位は、「1位 教育出版株式会社、2位 光村図書出版株式会社、3位 株式会社三省堂」でございます。

最後に、「道徳」の出版者は、6者ございます。

道徳では、児童が興味関心をもって取り組める題材を用い、発達段階に応じて内容項目がバランスよく組織・配列されているか、問題解決的な学習や体験的な学習が取り入れられ、道徳的価値の深化につなげることができるような適切な内容になっているかなどを重視しました。

その結果、審議会としての推薦順位は、「1位 東京書籍株式会社、2位 日本文教出版株式会社、3位 光村図書出版株式会社」でございます。

報告は以上でございます。

奥教育長

ありがとうございました。

それでは、委員の皆さんより、答申について、種目ごと、教科ごとに質問を受けたいと思います。その後、最終的な採決をとって次の種目へ移るという形で進めていきたいと思っています。

まずは、「国語」についてですが、質問はございませんか。

赤坂委員

先程教育長からのお話にもありましたが、改めまして教科書選定にあたりまして、審議会の皆様、調査員、検討委員の方々のご苦勞とご努力に対し、教育委員一同厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。

それでは質問させていただきます。

国語については、学習指導要領におきまして、教科の全ての基盤、要といたしますか、全教科の基盤となっている教科だと思っております。活用される資質とか、能力として言語活動を重要としている教科だと思っておりますが、各出版社ではどのような創意工夫をされておられるのかお聞きいたします。

奥教育長

審議委員の皆さんいかがですか。

茶谷委員

それでは、ただ今の質問に対して、審議会委員の茶谷より説明いたします。

今回も前回と同様、学習指導要領における国語科の目標や内容を踏まえ、各社とも言語活動の充実には配慮がされております。言語活動を通して、国語で正確に理解し、適切に表現する資質や能力の育成が図られるよう、各者それぞれ工夫を凝らした構成となっております。

その中で、児童が主体的な学びの実現に資する学習への対応についてですが、「東京書籍」では「ことばの力」や「学習の流れ」において、単元における学習課題、この学びでどんな力が身に付くのかを明確にするとともに、見通しをもって学習を展開することで、考えを広げたり、深めたりする活動を意識した内容となっております。これまでの既習事項が、単元のはじめに提示されていることから、学習のつながりがわかり、学習の見通しを持たせられるよう工夫がなされています。

「教育出版」では、「学習のてびき」において、学習課題を設定し、見通しを持たせられるよう、学び方が見えるように工夫がなされています。

「光村図書」では、巻頭の「国語の学びを見わたそう」において、一年間を通した学習の進め方が提示され、また、その流れは、どの単元でも同じ構成となっており、児童が一年間の学習の見通しを持つことができるよう工夫がなされています。また、「学習」において、「問いを持とう」「問いを作ろう」など、児童の問いを引き出し、学びにつなげていけるよう工夫がされています。「ふりかえろう」「いかそう」では、学びの定着や日常生活への繋がりが意識できるようにしたり、生活場面を想定した内容を取り上げたりするなど、児童が主体的に学ぶための配慮工夫がなされています。

言語活動の充実について、もう少し付け加えさせていただきます。具体的な単元を一例にあげますと、3者がともに採用している3年生の物語文で「モチモチの木」があります。

1位に推薦している「光村図書」では、学年最後の単元に配列され、学習全体の目標を「登場人物について考えたことを、伝え合おう」と設定しています。学びのヒントの「えらんで読み深めよう」で、一人ひとりの興味関心の沿った、個別最適な学びを進めながら、この学習の最後には、登場人物について考えてきて感じたことや、自分と比べて考えたことをまとめ、そのことを友だち同士で交流、協働的な学びを通して、自分と友だちの考えの違いや、友だちの考えの良さに気付いていけるような言語活動が設定されています。

2位に推薦させていただいた「東京書籍」では、同じ「モチモチの木」で、人物の性格を想像し、想像したことを伝え合おうという目当てを学習の最初に示すとともに、全体の学習の流れを提示しています。

学びを進め、最後に、伝え合う活動、友だちとの交流を行い、学習の振り返りで、人物の性格を想像しながら、本を読み、読書を楽しめるような言語活動の内容となっています。

「教育出版」も、同じ「モチモチの木」で、登場人物の性格を考えながら読もう、を学習目標に設定しており、学習のまとめとして、考えたことを伝え合う言語活動が設定されています。

どの出版社におかれましても、目標の設定や学習活動など、各者それぞれ特徴、個性は見られますが、どの出版社も、学習指導要領の目標や内容を踏まえた言語活動の充実には、工夫配慮がなされており、ことを改めて、述べておきます。

説明は、以上です。

赤坂委員

ありがとうございました。

奥教育長

よろしいでしょうか。

他にございませんか。

無いようですので、採決に入ります。

種目「国語」につきまして、審議会の答申において、推薦順位1位でありました、「光村図書出版」を採択することに賛成の方は、挙手願います。

(委員全員 挙手)

奥教育長

挙手全員です。

よって、「令和6年度使用泉佐野市立小学校教科用図書（国語）」は、「光村図書出版」を採択することに決定いたします。

次は、「書写」についてですが、質問はございませんか。

石崎委員

現在使用しているのは「東京書籍」の教科書ですが、今回、「光村図書」の方を上位に推薦することになった決め手は何でしょうか。

飯田委員

それでは、ただ今の質問に対して、審議会委員の飯田より説明いたします。

3者とも、学習指導要領に則り、発達段階に応じた適切な指導内容が取り扱われておりまして、硬筆と毛筆とを関連させて指導することにより、確実に書写の能力の基礎が養えるように構成されておりました。

では、今回、「光村図書」を1位に推薦しました決め手を3点挙げさせていただきます。

まず1点目、「光村図書」の教科書は、必要な情報が精選されており、レイアウトが見やすく、何がポイントなのかわかりやすく示されていることです。例えば、見開き1ページの題材ごとに「たいせつ」と囲

まれた部分がありまして、文字通りその時間の大切なことがまとめられ、ポイントがわかりやすくなって
おります。

2点目は、入門期の毛筆について「力の入れ方」や「筆運び」が数字と動物イラストで表されているの
がイメージしやすく、書くスピードも意識して書けるように工夫されていることです。

3点目は、書く時の姿勢や筆の持ち方、文字の書き方など、参考になるデジタルコンテンツが充実して
いるという点です。さらに、そういった書写の基本となる内容が、各学年で繰り返し示されており、高学
年になってからも基礎基本を確認できる構成になっております。また、左利きに対応する硬筆、毛筆の持
ち方、用具の置き方について説明するデジタルコンテンツも含まれています。

このように、多様な児童のニーズにあった配慮や工夫が充実しているという点において、「光村図書」の
方を上位に推薦いたしました。

奥教育長

ありがとうございました。
よろしいでしょうか。

石崎委員

はい。

奥教育長

他にございませんか。

中村委員

「光村図書」と「東京書籍」の教科書には、「書写体操」というものが記載されておりますが、現場の授
業の中で取り入れられそうですか。

飯田委員

それでは、ただ今の質問に対して、飯田より説明いたします。

今回の教科書から「光村図書」と「東京書籍」の中に「書写体操」というものが取り入れられておりま
す。これは、「書写」を行う前の準備体操にもなりますし、良い姿勢を維持し、疲れにくく集中して書くこ
との指導にもつなげられそうです。

また、二次元コードから見られる動画コンテンツもついておりまして、1分程度の内容ですので、無理
なく授業の始めに取り入れられそうです。

中村委員

ありがとうございます。

奥教育長

よろしいでしょうか。
他にございませんか。
無いようですので、採決に入ります。

種目「書写」につきまして、審議会の答申において、推薦順位1位でありました、「光村図書出版」を採択することに賛成の方は、挙手願います。

(委員全員 挙手)

奥教育長

挙手全員です。

よって、「令和6年度使用泉佐野市立小学校教科用図書(書写)」は、「光村図書出版」を採択することに決定いたします。

次は、「社会」についてですが、質問はございませんか。

山下委員

6年生になりましたら日本の歴史や政治、また国際的な社会の現在のあり方を少しずつ勉強すると思うのですが、「東京書籍」のみ6年生の教科書が「歴史編」と「政治・国際編」にわかれている、使い勝手がよいのではないかと思うのですが、違う教科書を選ばれた審議会としての見解はいかがでしょうか。

渡辺委員

それでは、ただ今の質問について、審議会委員の渡辺より説明いたします。

答申の「東京書籍」の⑥にも記載してありますように、確かに分冊にすると持ち運びしやすいという利点はあると考えます。

ご存じのとおり、以前は、6年生の社会科は、歴史から始まり、政治、国際の順に学習する配列になっておりました。しかし、今は、政治から始まり、歴史、国際の順に学習を進めてまいります。

となりますと、「東京書籍」では、「政治・国際編」の教科書をまず使い、その後、「歴史編」の教科書に変え、またその後再び、「政治・国際編」の教科書を使うこととなります。さらにそれらを関連付けて学習しようと思えば、結局2冊とも必要になってきます。

それゆえ、「日本文教出版」や「教育出版」のように、1冊にまとめられている方が、政治、歴史、国際を関連づけて学習しやすく、学びを深めるのに適しているのではないかというのが審議会としての見解です。

奥教育長

よろしいでしょうか。

山下委員

わかりました。

奥教育長

他にございませんか。

中村委員

先程の武田会長のご説明の中で、「親しみやすいかも加味しました。」とおっしゃっていたところで、質問させていただきたいのですが、私の中では、「教育出版」が6年生の教科書で、裏表紙に説明があった通り、戦中戦後の当時の白黒の写真をAI技術で人工的に着色掲載されていました。この「教育出版」の最新技術の取り組みを子ども達が見ることで、現場の先生達も感情移入しやすかったり、より理解が深まるのではないかなと私は気付かせていただきました。このAI技術で着色写真の件については、どう思われますか。

渡辺委員

それでは、ただ今の質問について、審議会委員の渡辺より説明いたします。

確かに、歴史的な白黒写真のカラー化は、「教育出版」だけの特色であり、当時の様子をイメージしやすい資料になると思います。

それゆえ、答申の「教育出版」の⑤にも記載させていただいております。使い勝手はいいかなと思うのですが、社会の教科書は6年生のものだけではありませんので、4年生から6年生の児童が課題解決に向けて主体的・対話的に学習しやすく、学びが深められるという点を総合的に判断して、今回は推薦順位を2位とさせていただきます。

奥教育長

よろしいでしょうか。

中村委員

はい。

奥教育長

他にございませんか。

私から1点。3者ともに人権的な配慮は十分されていると感じているのですが、人権学習の中身で申し上げると、社会科で人権を学ぶ時点で1番優れているというか、各発行者における人権の取扱いについて特徴的なものがあれば教えてください。

渡辺委員

それでは、ただ今の質問に対して、審議会委員渡辺より説明いたします。

3者とも、人権尊重の観点大切にされており、各学年において、様々な教材を通して、人権尊重についての意識が深められるよう工夫されておりました。

3者比べるにあたり、同じ学年の方が見やすいと思ひまして、6年生を例に出させていただきますと、例えば、「東京書籍」ですと、人権問題に対する自治体の取り組みを紹介し、「まちにあるユニバーサルデザイン」などについて考える内容が取り扱われています。

また、「教育出版」では、6年生の基本的な人権の尊重を学習する際「ハンセン病と人権侵害」「先住民の人々の人権」「障害者差別解消法」などが資料として取り扱われています。

「日本文教出版」では、同じく6年生の基本的な人権の尊重の学習において、「障害者差別解消法」を取り上げられ、人権啓発センターの人の話を通してインターネットやSNS上での人権問題に触れています。また、コラムでは、「子どもの権利条約」について説明されています。

さらに、3者ともに全ての学年において、多文化共生の精神が尊重されており、世界の人々との共生について考える題材が多く見られました。

どの出版社につきましても優れた内容であると判断しております。

奥教育長

人権的な観点から見ると遜色がないということでしょうか。

渡辺委員

はい。

奥教育長

他にございませんか。

無いようですので、採決に入ります。

種目「社会」につきまして、審議会の答申において、推薦順位1位でありました、「日本文教出版」を採択することに賛成の方は、挙手願います。

(委員5名 挙手)

奥教育長

挙手多数です。

よって、「令和6年度使用泉佐野市立小学校教科用図書(社会)」は、「日本文教出版」を採択することに決定いたします。

次は、「地図」についてですが、質問はございませんか。

山下委員

これまで「帝国書院」だと思っておりますが、確かに私も「帝国書院」の方が見やすいと感じますが、審議会で「帝国書院」を推薦する決め手となった点を教えてください。

それともう1つ、北方領土や竹島、尖閣諸島など日本の領土に関する記載は、それぞれどのようなようになっていますか。

奥教育長

2者のうち決め手となった点と、領土関係の記載についての見解を教えてください。

渡辺委員

それでは、ただ今の質問に対して、審議会委員の渡辺より説明いたします。

まず1点目でございますが、「帝国書院」を推薦することとなった決め手について、3点挙げさせていただきます。

1点目は、どちらも地図とともに児童が関心を持つようなイラストや情報、資料が記載されていますが「帝国書院」の方が見やすくまとめられているという点です。例えば、世界のそれぞれの地域を取り上げる地図では、必ず地球儀のイラストが入っており、今見ているページの国や地域が地球上のどの位置にあるものかを捉えられるようにしているのは「帝国書院」の方にだけしかない工夫です。

2点目は、地図上の土地の高低差の表現が立体的でかなり丁寧に表現されているという点です。2者を比べてみますとそれがよくわかります。

3点目は、大阪・近畿地方など児童にとって身近な地域がよく取り扱われているという点です。例えば、導入の部分の説明では、大阪の堺市が示されていますし、「東京書籍」の方は5万分の1のかなり拡大した地図を見開きで取り上げているのが、東京の都心部だけなのに対して、「帝国書院」の方は大阪の中心部も取り上げられています。

それゆえ、審議会としましては「帝国書院」の地図を上位に推薦いたしました。

2点目のご質問に対してでございますが、領土の問題に関する記載につきましては、次のように記載がありました。

「帝国書院」の方は、「北方領土」については、「北方領土は日本固有の領土ですが、ロシアが不法に占拠しています。」「竹島」については、「島根半島の沖に位置する日本固有の領土ですが、韓国が不法に占拠しています。」「尖閣諸島」については、「日本固有の領土です。一番奥に見えるのが諸島の中で最も大きな魚釣島です。」と記載されています。

「東京書籍」の方は、「北方領土」については、「北方領土は第二次世界大戦後にソビエト連邦が占拠し、現在もロシアが不法に占拠を続けており、日本は一貫して返還を求めています。」「竹島」については、「日本固有の領土ですが、韓国が不法に占拠され、日本は抗議を行っています。」「尖閣諸島」については、「魚釣島などからなる、日本固有の領土です。」と記載されています。

どちらも、学習指導要領に則った記載だと言えます。

あえて2者の違いを言うならば、「帝国書院」の方は、「日本の領土とそのまわり」というページにまとめて記載されており、「東京書籍」の方は、各地方のページに記載されております。

報告は以上です。

奥教育長

山下委員よろしいでしょうか。

山下委員

はい。

奥教育長

他にございませんか。

赤坂委員

地図は2者しかないのですが、「帝国書院」と「東京書籍」の評価の差はそんなに開いてないのですか。前回、前々回でも結果的に大阪府だけで言いますと、前回が採択したところが40対1と差が開いていま

すし、前々回も圧倒的な差で「帝国書院」の教科書を採択している地域が圧倒的に占めていたのですが、それぐらい大きな評価の違いはあるのですか。微差ですか。

奥教育長

その辺わかりますか。

渡辺委員

ただ今の質問に対して、審議会委員の渡辺より説明いたします。

冒頭の会長の報告でもありましたが、地図につきましては、見やすいかの観点であったりとか、学習意欲を高め、考える内容であるか、必要な情報が精選されているかなどを調査員から報告をいただいております。

この2者につきましては、だいぶ差があるというか、優先順位1位という内容が結構突出しているというところで審議会の方でも判断させていただいております。

奥教育長

よろしいでしょうか。

赤坂委員

はい。

奥教育長

他にございませんか。

無いようですので、採決に入ります。

種目「地図」につきまして、審議会の答申において、推薦順位1位でありました、「帝国書院」を採択することに賛成の方は、挙手願います。

(委員5名 挙手)

奥教育長

挙手多数です。

よって、「令和6年度使用泉佐野市立小学校教科用図書(地図)」は、「帝国書院」を採択することに決定いたします。

次は、「算数」についてですが、質問はございませんか。

中村委員

武田会長のご説明にもありましたが、「学んだことが実生活や他教科でも生かされるよう工夫されているか。」というポイントで、私が気づいた点ですが、審議会で1位と決めた「東京書籍」の様に、どんどん問題や計算を繰り返し練習させるメリットも十分わかるのですが、私はもっと子ども達に数字について、算数について多角的に考えさせる、捉えさせる、気づかせる機会を現場で与えて欲しいと思ったので、それ

が1番よく工夫されていて、メッセージ性を強く感じられたのが「啓林館」でした。私が良かったと思ったところが、1年生向けのスタートブックで、保護者向けにお子さんと保護者が新入学の時に向き合う時に凄くわかりやすく、安心、成長、自立の為にスタートカリキュラムが工夫されていますという説明文があったことと、6年生の本の240ページに「未来へのとびら お仕事インタビュー」というところで、色んな方々のコメントがあったのですが、そこで「算数が役に立ったよ」という、身近で感じやすい記事があったので、この掲載はいいなと思ったので、2位に推薦されていましたが、私は「啓林館」がいいと思ったのですが、子どもに考えさせるとか、多角的に気づかせる、捉えさせるという点で、「啓林館」と1位の「東京書籍」についてはどう思われたのでしょうか。議論の中であがったかどうかでかまいませんが。

古谷 大助委員

それでは、ただ今の質問について、審議会委員の古谷より説明いたします。

先程ご質問がありました、学びの深まりの部分に関してですが、審議会としましては、「東京書籍」が良いと判断しております。というのも、算数を学習する上で、単元の導入部分での指導内容の扱い方について、基本的には各者とも学習課題の掲示、問題解決の場面、まとめ、結論といった流れで構成されているのですが、「東京書籍」につきましては、学習課題と問題解決の場のみが同じページで示されております。まとめや結論が違うページにあるために、児童からは見えないような構成になっていて、授業で教科書を活用する時に、問題を見るつもりが答えまで見えてしまうという様なことが起きにくい配列となっております。その他の発行者は見開きでまとめられている為に、振り返る場面を想定した場合はとても見やすいようになっていますが、これから学ぶという場面では、工夫が必要になるのかなという風に思います。そのため、自然な流れで児童の考えを深める時間を作るという意味では、「東京書籍」が良いのではないかと考えております。また、会長の方からもデジタルコンテンツについてお話しがありましたが、推薦順位1位にしました「東京書籍」は、コンテンツの質がとても高いと感じます。内容を見ましたけれども、児童が自分で試行錯誤しながら学習を進めていけるような工夫がコンテンツの中身としてありました。2位の「啓林館」もコンテンツの量としては豊富にありますし、説明動画などもたくさん入っております。オンデマンド型の授業を受けているような感覚で見ることができるので、個人で学んだり、家庭学習をするという場面においては非常に役に立つ内容になっていると感じます。しかし、児童の学びの中心である教室での活用という部分で考えた時には、「東京書籍」のコンテンツが他者と比べると、他の児童との共同的な学びや、考え方が深まる仕掛けになっていると感じましたので、今回は推薦順位1位を「東京書籍」と審議会ではさせていただきました。以上です。

奥教育長

中村委員よろしいでしょうか。

中村委員

はい。ありがとうございます。

奥教育長

他にございませんか。

甚野委員

算数の方は6者あるのですが、教科書のサイズが会社によって大小、大きい教科書の会社もありますし、そうでない教科書もあるのですが、それが学校で勉強する時にどのように学習や活用に影響するのでしょうか。

古谷 大助委員

ただ今の質問について、審議会委員の古谷より説明いたします。

各教科、紙面を見やすくするため教科書が大きくなる傾向が見られますが、算数に関しましては、児童が使っているノートがA4版またはB5版ですので、それにあわせて、教科書もA4版またはB5版のものが扱いやすいと考えております。

今回「東京書籍」「啓林館」「大日本図書」の1年生のスタート時のものは、A4版で中綴じになっておりまして、これについては、厚みが薄く、1年生の児童にとって書き込みがしやすかったり、教科書の上に具体物をおいて作業する際にも活用しやすいものと考えております。

また、学んだことを関連させて学習するという点では、学年で1冊にまとめられていると活用しやすいのですが、算数は学習内容が非常に多いということもありますので、紙媒体というところで考えますと、1冊ですとかなり分厚くなって、書き込みや持ち運びが難しくなります。

そのため、1年生のスタート時のものは、薄くフラットにおけるA4版が良く、それ以外の学年はB5版の上巻下巻に分かれているもの、高学年になるとB5版1冊でも十分に活用できるのではないかとこのところで判断しております。

奥教育長

よろしいでしょうか。

甚野委員

詳しい説明ありがとうございました。

奥教育長

他にございませんか。

では私から1点、算数においてはそのつど单元ごとに理解できるということではなく、積み重ねがあると思うのですが、そういった上で武田会長の説明にもありましたが、既習事項との関連性や連続性がありますが、そういった辺りで1年生から6年生まで通して1番優れているという面ではいかがですか。

古谷 大助委員

それでは、ただ今の質問について、審議会委員の古谷より説明いたします。

先程冒頭の方に中村委員から「啓林館」の方が良いのではないかとのお話がありましたが、今回審議会の中でも「啓林館」も非常に良かったというご意見もありましたし、他者の出版社の中身も非常に良かったという意見も出ております。ただ、6年間を通じてというと、やはり「東京書籍」が1番系統立てながら、考えを深めていくという点においては重点が置かれていると感じましたので、今回1位ということにさせていただきました。

奥教育長

はい。ありがとうございます。

他にございませんか。

無いようですので、採決に入ります。

種目「算数」につきまして、審議会の答申において、推薦順位1位でありました、「東京書籍」を採択することに賛成の方は、挙手願います。

(委員5名 挙手)

奥教育長

挙手多数です。

よって、「令和6年度使用泉佐野市立小学校教科用図書(算数)」は、「東京書籍」を採択することに決定いたします。

次は、「理科」についてですが、質問はございませんか。

石崎委員

「啓林館」を1位に推薦されていますが、「啓林館」の教科書の特色や推薦する理由を教えてください。

伊藤委員

それでは、ただ今の質問に対して、審議会委員の伊藤より説明いたします。

「理科」につきましては、5者ともに、観察、実験などを通して問題解決的な学習ができるよう、適切な教材が取り扱われておりました。

また、自然を愛する心情や主体的に問題を解決しようとする態度を育むための工夫も随所に見られました。

中でも特に、「啓林館」の教科書は、「見つける」→「調べる」→「まとめる」の学びのサイクルによって、児童の問題解決の力が高められるよう工夫されております。

また、「くらしとリンク」「with the Earth」「理科の広場」「活用しよう」のコーナーでは、学んだことをSDGsと関連させたり、日常生活や社会に繋ぐことができるよう工夫されておりました。発展的な学習にも繋げることができます。さらに、防災やプログラミングに関する内容の掲載も他者と比べて豊富と思われれます。

動画コンテンツについても充実しておりました。なおかつクオリティも高いものになっております。

これらのことから、審議会としましては、「啓林館」の教科書を1位に推薦いたしました。

奥教育長

よろしいでしょうか。

石崎委員

はい。ありがとうございました。

奥教育長

他にございませんか。

無いようですので、採決に入ります。

種目「理科」につきまして、審議会の答申において、推薦順位1位でありました、「新興出版社啓林館」を採択することに賛成の方は、挙手願います。

(委員全員 挙手)

奥教育長

挙手全員です。

よって、「令和6年度使用泉佐野市立小学校教科用図書(理科)」は、「新興出版社啓林館」を採択することに決定いたします。

次は、「生活」についてですが、質問はございませんか。

赤坂委員

泉佐野市におきましても、セーフティコミュニティに対する取り組みを令和3年に「泉佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」という形でビジョンを打ち出して取り組んでおられるのですが、生活において、地域の方々と交流や体験が必ず必要になってくると思うのですが、そういった観点から、セーフティコミュニティや地域との交流を取り上げて学びやすくしているのか、上位3者でいいので、その辺の比較の違いを教えてください。

山岡委員

それでは、ただ今の質問について、審議会委員の山岡より説明いたします。

地域の資産の活用については、季節を感じたり地域の方から色々なお話を聞いたりすることで、どの教科書にも掲載があったと思います。その中でも特に「啓林館」については写真や動画の資料が充実していて、子ども達が興味を引くような資料がたくさん載っているという点で、特に子ども達の興味を引きながら地域との関わりも深く表現されていると審議会では判断しまして、1位とさせていただきます。

奥教育長

よろしいでしょうか。

赤坂委員

地域との交流、関わりが近年少し薄くなっているような世の中になっておりますので、泉佐野市も地域コミュニティとの関わりを進める方向でビジョンを打ち出していると思うのですが、教科書においても、地域の町のことを学ぼうなど、いろんなことで、紙面を増やしていると思いますので、そういった観点から質問させていただきました。それともう1点、これも地域と関わりがあると思うのですが、昔からあることではありますが、近年地震や台風とか豪雨とか災害が矢継ぎ早に起こっております。日常生活の安全ということや、防災ということを社会の教科書では多少重なるところはありますが、各者どのような注意点を学びやすく書かれているのか教えてください。

山岡委員

それでは、ただ今の質問について、審議会委員の山岡より説明いたします。

ご質問に関わることにつきましては、生活は1、2年生の低学年で指導いたしまして、その後理科、社会に大きく繋がっていくような内容が掲載されています。低学年の子が今後学ぶ理科や社会の中での防災や地域との繋がりに興味を持ってもらえるような内容が生活ということになっていまして、そういう意味では教科横断的な、その後の教科への繋がりを意識した教科書の作りにどの教科書もなっているところですよ。生活の教科書の中に詳しく載っているというよりは、その後の学習に向けて教科横断的な他教科への繋がりを意識した掲載がどの教科書にもあるのですが、特に「啓林館」の教科書においては、理科、社会はもとより、家庭科や保健体育などの他教科に関連付けて防災や安全に対する意識を位置付けるような内容も含めて、他教科との関連は非常に充実していると判断させていただきました。

奥教育長

よろしいでしょうか。

赤坂委員

ありがとうございます。1つだけ印象的なことを申しあげますと、防災等の挿絵ですが、わりと可愛く挿絵が描かれているので、防災の時はもう少し危機感のある描き方も必要かなと思いました。印象です。

奥教育長

他にございませんか。

甚野委員

現在使用している教科書は、「東京書籍」の本を使用されていますが、今回は、5者のうち、「啓林館」を1位に推薦されています。「啓林館」の教科書の特色や推薦する理由を教えてください。「東京書籍」の方も例えば、花を咲かせようというテーマで種から蕾から花の順に各ページの書面に工夫がみられて順を追ってページを追って見る楽しみがあったりしましたので、子どもが見る感じでは見やすいかなと「東京書籍」は思ったのですが、「啓林館」の方が更に良いと評価されていると思いますので、そういった点をお聞きしたいです。

山岡委員

それでは、ただ今の質問について、審議会委員の山岡より説明いたします。

生活科については、対象が1、2年生の低学年であることから、特に、体験的な学びが大切で、児童がより意欲的に自ら活動したいと思うことが大事であると、そういった観点で選びました。

具体的には、絵や写真や動画などの資料が充実していて学習活動のイメージが持ちやすいもの、単元の見通しがわかりやすいもの、発達段階に応じた表現がされていて低学年の児童に難しすぎない配慮があるか、児童が偏った見方にならないよう人権的な配慮がなされているものがより良いと判断しております。

その中で、「啓林館」の教科書は、デジタルコンテンツを含め資料が1番充実していると、我々は判断しております。例えば、植物の栽培方法や虫や動物の飼育の仕方まで詳しく載っており、子どもたちが主体的に活動してみたいと思える仕掛けが随所にあります。「デジタルたんけんブック」「学びウェブ」など

のデジタルコンテンツも充実しており、発展的な学習をすることもより可能となっており、教える側にとっても、たいへん便利な資料となるものでした。

また、学習の流れが「わくわく（黄色）」「いきいき（赤）」「ぐんぐん（青）」と色分けして整理されており、見やすく、見通しが持ちやすいこと、子どもたちが安心して学習できると判断しています。

さらに、他の種目でも出ておりましたが、他の出版者よりサイズが小さいので、子どもにとっては取り扱いやすく、デジタルコンテンツがたくさんあるので、教科書、ノート、タブレットなどを狭い机の上で扱うにあたっては、コンパクトで使い勝手が良いのではないかと判断しております。

それゆえ、審議会としましては、「啓林館」の教科書を1位に推薦いたしました。

奥教育長

よろしいでしょうか。

甚野委員

学年に応じて工夫されているという点で、重視されていることがよくわかりました。ありがとうございます。

奥教育長

他にございませんか。

無いようですので、採決に入ります。

種目「生活」につきまして、審議会の答申において、推薦順位1位でありました、「新興出版社啓林館」を採択することに賛成の方は、挙手願います。

（委員全員 挙手）

奥教育長

挙手全員です。

よって、「令和6年度使用泉佐野市立小学校教科用図書（生活）」は、「新興出版社啓林館」を採択することに決定いたします。

次は、「音楽」についてですが、質問はございませんか。

赤坂委員

2者の選択ということで、評価についても1番拮抗している選択になっており、5年前も一緒でしたが、今回は「教育出版」を取り上げることになったということですが、どちらを採っても良い評価だと思うのですが、決め手というかその点についてお聞きしたいのですが、まず、国歌についてですが、「教育出版」は国歌の歌詞の意味のことが学年のレベルごとにわかりやすい形で取り上げているように感じました。「教育芸術社」の方は、そういう説明もあるのですが、どちらかという自国の国歌だけではなく、他の国の国歌も尊重しましょうというところを強調されている教科書だと思っております。その辺のところを審議会では、どのように評価をされたのかお聞きします。それともう1つ、和楽器を演奏する。確か4年生で琴を演奏するというところがあったと思うのですが、洋楽器ですと、五線譜で表現しておりますけれど

も、和楽器の琴の場合は漢数字の一、二、三、四、五で楽譜が掲載されていると思うのですが、4年生ですから、ある程度、五線譜に慣れているというところで和楽器の別の楽譜を提供しているということになるので、子ども達がどう学びやすく理解できるように両者が載せられているのか、お聞きしたいと思います。よろしく願いいたします。

杉村委員

それでは、ただ今の質問に対して、審議会委員の杉村より説明いたします。

まず初めに、2者が拮抗していたというお話ですが、確かにその通りで「音楽」に関しましては、どちらの教科書も音楽科の目標を達成するために適切な内容が取り上げられており、音楽で表現するために必要な技能を習得したり、音楽に対する感性を育んだり、音楽に親しむ態度を養ったりできるよう工夫されており、甲乙つけがたい内容になっておりました。

そんな中、決め手となった点が3点あります。

1点目は、音楽は、取り上げられている曲を児童がどのようにイメージするかが大切で、「教育出版」のものは、写真やイラストが曲をイメージしやすいものに工夫されていたという点です。これは、児童の学ぶ意欲にもつながりますので、観点として取り上げさせていただきました。

2点目は、「教育出版」の方が文字による情報量が多すぎず、楽譜や大切なポイントが見やすいという点です。「教育芸術社」のものは、説明や指示が詳しくなされているのですが、それがかえって、紙面を見にくくしているように思われる部分がありました。

3点目は、日本の伝統的な楽曲を含め、欧米からアジアまで世界各国の様々なジャンルの幅広い楽曲がバランスよく取り扱われているという点です。それが、児童の意欲をさらに高め、音楽を愛好する心情と豊かな情操を培うことにつながると考えました。

以上の点から「教育出版」の方を上位に推薦いたしました。

ご質問にありました国歌についてもしかりでして、「教育芸術社」のものよりも、「教育出版」の方が世界各国の多様な音楽の紹介と同様に国歌についても同様に扱われているような節がございます。それともう1点、和楽器についてですが、4年生の教科書にお琴の紹介がありました。両者とも楽曲は日本の伝統歌唱の「さくら」を題材のモチーフにしていたのですが、「教育出版」が2ページで紹介していたのに対して「教育芸術社」は倍以上のページ数を使って情報豊かに取り上げられています。しかし、あまりの情報の多さがかえって、これとあれとそれをしないといけないというような縛りになることがあり得ますので、「教育芸術社」の教科書の情報量が多いと何回か申しあげましたのは、割と全てに関してそのような縛りになってくる可能性を考えました。それに対して「教育出版」の教材の方は、イメージは膨らみますが、あれをしないと、これをしないと、というものにはあまり縛られない自由な子ども達の発想を促せるような教材に見受けましたので、推薦に至った次第です。以上です。

奥教育長

ありがとうございました。

よろしいでしょうか。

赤坂委員

はい。

奥教育長

他にございませんか。

無いようですので、採決に入ります。

種目「音楽」につきまして、審議会の答申において、推薦順位1位でありました、「教育出版」を採択することに賛成の方は、挙手願います。

(委員全員 挙手)

奥教育長

挙手全員です。

よって、「令和6年度使用泉佐野市立小学校教科用図書(音楽)」は、「教育出版」を採択することに決定いたします。

次は、「図画工作」についてですが、質問はございませんか。

甚野委員

2者からの選択ですが、「日本文教出版」の方を上位に推薦されていますが、推薦する決め手となった点を教えてください。お願いいたします。

古谷 秋雄委員

それでは、ただ今の質問に対して、審議会委員の古谷より説明いたします。

今回2者の中から「日本文教出版」の方を上位に推させていただいた点について、決め手となった点を3点挙げさせていただきます。

まず、1点目は、二次元コードを読み取った先のコンテンツが充実しているという点です。

二次元コードの数自体は2者ともそんなに差はないのですが、読み取った先のコンテンツに関しましては、「開隆堂出版」が6年間で約900であるのに対して、「日本文教出版」のデジタルコンテンツは6年間で2900以上もございます。内容についても、わかりやすいものが多く、例えば、制作の段階を細かく分けて説明した動画が入っていたり、作品を360度回転させて鑑賞できたりといったコンテンツが多くありまして、児童が主体的に作品制作に取り組みやすいものになっています。

2点目は、4年生以降に1人1台端末を活用できる題材が掲載されているという点です。コンテンツを見るだけでなく、端末を使って作品を記録する、これは写真など芸術の分野に広がりが見られるのではないかと考えておりますし、端末を使っての作品制作、グラフィックデザインなど多様な表し方の1点にはなりますが、こういったヒントが実際にこういう使い方につながりますといったことが掲載されている点を2点目として挙げております。

さらに、3点目は鑑賞するためのアート作品や児童の作品などが1つ1つ大きく掲載されており、児童が鑑賞したり、参考にしたりしやすい構成になっているという点が挙げられます。

以上のことから、指導要領の目標の達成に向けて、より効果的であるのではないかと判断しまして、「日本文教出版」の教科書を上位とさせていただきます。

奥教育長

よろしいでしょうか。

甚野委員

はい。

奥教育長

他にございませんか。

無いようですので、採決に入ります。

種目「図画工作」につきまして、審議会の答申において、推薦順位1位でありました、「日本文教出版」を採択することに賛成の方は、挙手願います。

(委員全員 挙手)

奥教育長

挙手全員です。

よって、「令和6年度使用泉佐野市立小学校教科用図書(図画工作)」は、「日本文教出版」を採択することに決定いたします。

次は、「家庭」についてですが、質問はございませんか。

中村委員

審議会の方で1位に推薦されたのは「開隆堂出版」ですが、「開隆堂出版」も「東京書籍」も拮抗していたのか、推薦する決め手となった点について教えてください。

古谷 大助委員

それでは、ただ今の質問について、審議会委員の古谷より説明いたします。

「開隆堂」を上位に推薦する決め手となった点を2点挙げさせていただきます。

1点目は、単元設定が細かく丁寧にされており、児童のめあてがわかりやすく示されているという点です。「東京書籍」も学習の流れを示すことで、児童にとって見通しは持てるように工夫はされておりますが、児童が、何ができるようになるか、という部分を明確に示しているのが「開隆堂」という判断となりました。

2点目は、「開隆堂」の教科書は、ほぼ全てのページの下の部分に学習内容に関連した豆知識という記載がされております。この部分は本文の内容理解を深めるものとなっておりますけれども、直接授業でふれることができなかつたとしても、個別の学習で基本的な知識を習得することや、発展的な学習にもつなげられるものになっておりまして、学習の機会を広げるものになっているというところで、1位を「開隆堂」にさせていただきました。

奥教育長

よろしいでしょうか。

中村委員

はい。

奥教育長

他にございませんか。

私の方から1点。家族や家庭の概念について多様性がある時代になっていると思うのですが、そういった面でそういうことを尊重するようなことについては両者格差があったわけではないですか。

古谷 大助委員

それでは、ただ今の質問について、審議会委員の古谷より説明いたします。

2者共にその部分に関しましては特に課題があるというところはありませんでした。

奥教育長

わかりました。

他にございませんか。

無いようですので、採決に入ります

種目「家庭」につきまして、審議会の答申において、推薦順位1位でありました、「開隆堂出版」を採択することに賛成の方は、挙手願います。

(委員全員 挙手)

奥教育長

挙手全員です。

よって、「令和6年度使用泉佐野市立小学校教科用図書(家庭)」は、「開隆堂出版」を採択することに決定いたします。

次は、「保健」についてですが、質問はございませんか。

谷口委員

6者あるうち、「光文書院」を1位に推薦されていますが、「光文書院」の教科書の特色や推薦する理由を教えてください。

佐々木委員

それでは、ただ今の質問について、審議会委員の佐々木より説明いたします。

「光文書院」の教科書は、発展的な学習について取り上げている箇所、書き込み欄を設けている箇所、話し合い活動を設けている箇所、他教科や他学年との繋がりを促す箇所のバランスが良く、さらに、「学習のまとめ」や「調べよう」「考えよう」という項目が單元ごとに設定されていて、児童が主体的に学ぶことができるよう工夫されております。

また、写真よりも学習内容を把握しやすいイラストや漫画が多く取り入れられていたり、書き込みの内容が、書きやすいテーマになっており、ワークシートとしても活用しやすくなっております。

さらに、人権的な配慮が随所に見られ、悩みに寄り添う資料等が丁寧に掲載されております。
それゆえ、「光文書院」の教科書を1位に推薦いたしました。

奥教育長

よろしいでしょうか。

谷口委員

はい。

奥教育長

他にございませんか。

谷口委員

もう1点。成長していく体の変化や性について、各教科書の取り扱いはいかがででしょうか。

佐々木委員

それでは、ただ今の質問について、審議会委員の佐々木より説明いたします。

どの教科書も男女の体の違いや二次性徴を学習する際、「性の多様性」や「個人差」についても触れられています。

中でも、今回上位で推薦しました「光文書院」「東京書籍」については、断定的な表現をさけるなどの配慮が多く感じられました。

さらに、例えば、「初経」や「精通」の時期の調査についての資料では、「経験がない」という項目も含めている資料を使っているなどの配慮が「光文書院」「東京書籍」に加え、「大修館書店」にも見られます。以上です。

奥教育長

よろしいでしょうか。

他にございませんか。

私から1点。私が見させていただいた感想ですが、性被害を防止していく上では、どことも弱いかなどは思ったのですが、最近ではそういったところがクローズアップされていますし、国においても性被害を無くすための学習プログラム等も色々やっている中で、あまり教科書では取り上げていないというのが私の実感なのですが、そういうことについて、非常に大事なことですからその辺りの観点からはいかがでしょうか。

佐々木委員

それでは、ただ今の質問について、審議会委員の佐々木より説明いたします。

各社においてプライベートゾーン等の説明があり、そこから性被害に対する教師からの説明などができると考えます。

奥教育長

はい。わかりました。教科書によって載っている、いないなど、そういった議論は審議会では無かったということですね。

佐々木委員

大きな差はないと考えております。

奥教育長

わかりました。
他にございませんか。

赤坂委員

そのことで、学習指導要領はどのようになっているのか教えていただけますか。性被害についての掲載はないのですか。

奥教育長

学習指導要領上ではたぶんないです。

赤坂委員

書いていなければ教科書にも載せないということではないですか。

山下委員

たぶんないのではないのでしょうか。また分かればということ。

奥教育長

国は色々な学習プログラムで提供していたりしているので、それは非常にこれから先重要なことですので、今後注目していきたいと思っています。

他にございませんか。

無いようですので、採決に入ります。

種目「保健」につきまして、審議会の答申において、推薦順位1位でありました、「光文書院」を採択することに賛成の方は、挙手願います。

(委員5名 挙手)

奥教育長

挙手多数です。

よって、「令和6年度使用泉佐野市立小学校教科用図書(保健)」は、「光文書院」を採択することに決定いたします。

次は、「英語」についてですが、質問はございませんか。

中村委員

武田会長の説明の中で「英語は、中学校への接続を意識し、できるだけシンプルな構成で、児童にとって理解しやすく、より興味を持って取り組みそうな題材」とおっしゃっておられたのですが、推薦されている「教育出版」で引っかかったところがありまして、少し説明させていただきます。6年生の84ページに、みんなの将来の夢について取り上げているのですが、そこにある風船の中の文章が、動物の獣医になりたいという内容だったのです。そこで「I want to be a vet.」とあるのですが、小学生に「vet」という単語は難しいと思うのです。「animal doctor」で十分通じると思うのですが、なおかつ「vet」という単語を深掘りしていくと、もっと長い単語「veterinarian」という単語を取り上げてくれているのかと思って巻末の出てくる単語を見ていると、フルの単語の「veterinarian」が表示されていませんでした。獣医を意識するイメージだったりとか、そこは「animal doctor」でいいのに、会話の中で省略をするんだよということを現場の先生が教えるのか、他の意味で西洋語でベテランの先生とかベテランの選手という意味で「veteran」という単語も「vet」って省略させるのです。それは「退役軍人」とか、「軍隊の経験がある方」という意味でもあるので、その辺りの深掘りを小学生にするのもいかなものかなと思うのですが、「vet」という省略の仕方をしている「教育出版」はいかなものかと思います。ですので、私がいいなと思ったのは、「光村図書出版」はそういう「vet」という言葉だったりとか、他の単語で「vest」とか、他の単語で変えて表現していたので、2位の「光村図書出版」がいいなと思ったのですが、1位の「教育出版」と僅差だったのか、審議会の中で取り上げられていたのかお伺いしたいのですが。

松良委員

それでは、ただ今の質問について、審議会委員の松良より説明いたします。

将来の夢について獣医の「vet」ということについての深掘りといいますか、そういった点について深く議論をされたかという点、そういったことはありませんでした。総合的なところで、先ほど武田会長から説明がありましたが、総合的なところの部分を配慮した上で「教育出版」の教科書は、全体的に「聞く活動」「話す活動」「読む活動」「書く活動」の構成や内容と量のバランスが取れております。

各Lessonが「見る活動」「聞く活動」から始まり、「話す活動」「読む活動」「書く活動」へ展開していくという流れがありまして、なおかつ活動内容がシンプルで、小学校段階の児童には理解しやすい学習の流れであると感じました。

また、巻末のワークシートが充実しておりまして、アクティビティで活用しやすくなっています。これは、泉佐野市が拡充を進めておりますALTさんと一緒に活動していく、授業する際にも有効であると考えております。

さらに、様々な国や人物が登場し、世界各国の「名所・名物」がたくさん紹介されているなど、児童が世界の様子に興味を持てるように工夫もされております。

先ほどの1番最初の獣医の短縮された言葉についての取扱いについてですが、そういったことも配慮しながら学校の方で指導していく、そういった段階の時に十分配慮しながら展開はできるかなと考えております。以上です。

奥教育長

獣医の単語に関することについては、調査員からも審議会での報告はなかったのですね。

松良委員

はい。

奥教育長

他のことでも色々説明がありましたが、色んな点から「教育出版」を推したということによろしいですか。

松良委員

はい。

奥教育長

中村委員どうでしょうか。

中村委員

私はやはり「光村図書出版」の方が、5年生での目標、6年生での目標がわかりやすくチェックできるようにされているところと、5年生の9ページのタイトルで「いつも大切」「Smile」「Eye Contact」「Clear Voice」とか、聞く人に伝わる声の大きさとか、スピードを意識しましょうというところをわかりやすく取り上げていてくれたり、「Response」「気づきを生かそう」というところで、『あなたが考えた「たいせつ」を加えよう』ということで、会話の中の読み取る力とか、話すとか、聞くとかというのを重視しているというところも強調されていましたし、もっと子ども達が英語を使う時に意識した方が相手に伝わる英語の単語を知っていなくても、「vet」の省略しているところを知らなくてもボディーランゲージで、ジェスチャーで伝わるんだということをすごく強く「光村図書出版」は言語教育に特化している会社だと思ったので、そういう得意分野を英語の教科書でも発揮されているなど思ったので、良いと思いました。

あと、6年生の61ページのところで「地域の名物を紹介し合おう」「中学生と交流してみよう」とか「ICTを活用しよう」というところが、今泉佐野市が取り組んでいるICT教育、1人1台端末を活用させる上ではこれが1番使い勝手が良い教科書ではないかなと「教育出版」よりも「光村図書出版」が良いと推していました。

奥教育長

中村委員としては1位が「光村図書出版」ということですね。

中村委員

はい。

奥教育長

他にございませんか。

甚野委員

6者ある内で別冊に単語帳が付いている会社と付いていない会社があるのですが、付いている会社の方にはその学年で使われる単語が載っていると思うのですが、そうなっていると、子ども達が辞書を自分で調べなくなるということに繋がらないかなと思ったのですが、ただ、その単語帳に書いていて便利なので、その辺りについてどうお考えになったのかお聞きしたいと思います。

松良委員

それでは、ただ今の質問について、審議会委員の松良より説明いたします。

辞書について私も調査員に質問しましたが、小学生の段階では必要な単語の数はそれほど多くないことから、別冊の「Dictionary」が無くても、「教育出版」は、むしろ、巻末に「My Word Bank」が設定されておりますので、それで十分対応できるのではないかと、本当に調べようと思ったら子ども達は調べていくと思うのです。この方が簡単に見ることができ、活用しやすいのではないかと考えております。

奥教育長

よろしいでしょうか。

甚野委員

単語の数には限りがありますので、自分で辞書を調べると新しい単語と出会える楽しさがあるかなと思ったりしましたが、確かに今は子ども達も忙しいので、限られた単語で間に合っているとは思いますが、よくわかりました。ありがとうございました。

奥教育長

他にございませんか。

無いようですので、採決に入ります。

種目「英語」につきまして、審議会の答申において、推薦順位1位でありました、「教育出版」を採択することに賛成の方は、挙手願います。

(委員4名 挙手)

奥教育長

挙手多数です。

よって、「令和6年度使用泉佐野市立小学校教科用図書（英語）」は、「教育出版」を採択することに決定いたします。

最後は、「道徳」についてですが、質問はございませんか。

谷口委員

推薦順位2位の「日本文教出版」には、別冊で「道徳ノート」がついていて、学んだことを振り返ったりするのに子ども達が使いやすいのかなと思ったのですが、審議委員会での見解はいかがでしょうか。

奥教育長

「道徳ノート」について、他はないのですが「日本文教出版」はあったということですね。

中村 絵里委員

それでは、ただ今の質問について、審議会委員の中村より説明いたします。

おっしゃる通り「道徳ノート」があると児童の学びの記録、心の成長を記録するうえでは有意義であると考えております。また、子ども自身も自己の振り返りもできますし、教師にとっても評価をするといった場合にも有効に活用できるかと思えます。

しかしながら、「道徳ノート」があるがゆえに、「道徳ノート」ありきの授業展開になってしまい、児童の実態に合わせた発問の展開もしづらくなっていくという面もあります。また、今回「日本文教出版」に付いている「道徳ノート」ですが、レイアウトがどの学年でも同じ物になっていますので、中学年以上では少し活用が難しいかと審議会では考えました。

現在使用している教科書もそうですが、既存の「道徳ノート」が無い場合は、当然、教師が児童の実態に合わせて、ワークシートを作成することになります。

審議会としましては、「考え、議論する道徳」という視点を大切にして、児童の実態に合わせた柔軟な授業展開を考えられる教師の力に期待しまして、あえて「道徳ノート」のない教科書の方を推薦いたしました。

また、1位の「東京書籍」につきましては、実は、二次元コードの中にデジタルですが「道徳ノート」、ワークシートのようなものなのですけれども、ついておまして、これについては教師が必要に応じて活用することができるかと考えています。

奥教育長

よろしいでしょうか。

谷口委員

はい。

奥教育長

他にございませんか。

無いようですので、採決に入ります。

種目「道徳」につきまして、審議会の答申において、推薦順位1位でありました、「東京書籍」を採択することに賛成の方は、挙手願います。

(委員5名 挙手)

奥教育長

挙手多数です。

よって、「令和6年度使用泉佐野市立小学校教科用図書(道徳)」は、「東京書籍」を採択することに決定いたします。

以上で全種目が決定いたしました。

確認いたします。

「令和6年度使用泉佐野市立小学校教科用図書」として、

国語は、「光村図書出版 株式会社」

書写は、「光村図書出版 株式会社」

社会は、「日本文教出版 株式会社」

地図は、「株式会社 帝国書院」

算数は、「東京書籍 株式会社」

理科は、「株式会社 新興出版社啓林館」

生活は、「株式会社 新興出版社啓林館」

音楽は、「教育出版 株式会社」

図画工作は、「日本文教出版 株式会社」

家庭は、「開隆堂出版 株式会社」

保健は、「株式会社 光文書院」

英語は、「教育出版 株式会社」

道徳は、「東京書籍 株式会社」

以上のように決定いたしました。

武田会長をはじめ、審議会委員の皆様には、長期間にわたり丁寧なご審議、本当にありがとうございました。

それでは、続いて、「令和6年度使用泉佐野市立学校教科用図書」について、事務局から説明をお願いします。

和田学校教育課学校指導担当参事

令和6年度小学校教科用図書の採択につきまして、どうもありがとうございました。

令和6年度使用の小中学校の教科用図書につきまして、5月の教育委員会議で説明させていただいたことの確認になります。

小学校につきましては、ただいまご採択いただきました。

中学校につきましては、全教科において、今年度使用教科書と同一の教科書を引き続き採択したいと考えております。

説明は、以上でございます。「令和6年度使用教科用図書の採択」について、ご承認くださいますよう、どうぞ、よろしく願いいたします。

奥教育長

ただいまの説明について、ご意見、ご質問等がございましたらお願いします。

無いようでございますので、「令和6年度使用学校教科用図書の採択について」は、原案のとおり承認することとしてよろしいですか。

(各委員 「異議なし」の発言あり)

ご意義がございませんので、原案どおり承認することに決定いたします。
それでは、これをもって本日の会議は終了いたします。

(午後3時42分閉会)